



釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz 5周年 レポート

2018年8月21日～2023年8月31日

CHALLENGE TOGETHER!



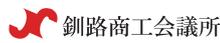
発行 釧路市ビジネスサポート協議会

❖ 釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz とは

地元企業の経営を支援する無料相談所です



釧路市ビジネスサポート協議会 構成団体



売上アップの施策、新商品・サービスの提案、 情報発信、採用、起業… どんなご相談もOK



経営のプロが
アドバイス



どんな相談でも OK
しかも無料



相談は 1 回 1 時間
何度でも利用可



強みを見つけて
打ち手を提案



アドバイスだけでなく
実現まで伴走サポート



全国ネットワーク
様々な分野に強い

❖ アドバイザー・事務局

経営・人事、企画、情報発信、IT、DX など 各分野のプロフェッショナルがアドバイス



センター長
澄川 誠治

1979年生まれ、島根県美濃郡美都町（現益田市）出身。島根県立益田高校卒業。2004年東京大学工学部機械工学科卒業、同年株式会社リクルート入社。リクルート在籍時には不動産業界にて、最大手メガ企業から地域の地場中小企業まで幅広く担当し、広告・集客・販売戦略、商品開発・採用・人事制度改革・研修・ブランディングなど様々な手法で課題解決を提案。様々なソリューションを生み出す。
2018年 釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizでブランディングマネージャーとして勤務、2021年1月より副センター長に就任。3児の父。趣味はサッカー、アイスホッケー。



副センター長
田辺 貴久

1982年生まれ、千葉県市川市出身。2004年早稲田大学第一文学部卒業、出版社勤務を経て2007年に株式会社リクルート入社。リクルート在籍時には編集業務に携わり、「SUUMOジャーナル」の立ち上げ、フリーマガジン「スーモマガジン」「スーモの注文住宅」の編集長を歴任、新しいデザインやコンセプトを作ることで各誌で歴代最高部数を記録する実績を残す。
2019年10月より釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizでブランディングマネージャーとして勤務、2021年1月より副センター長に就任。ウイスキーが好き。



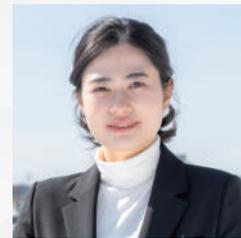
IT アドバイザー
佐々木 圭一

1978年帯広市生まれ。釧路市の企業で19年勤務、地方都市の製造業現場を総合的に経験。2015年よりフリーランスとして活動を始める。「わからない・伝えられない・伝わらない」の原体験をもとにした「その人視点で」をテーマにグラフィックデザイナー・IT講師として一般企業や個人、自治体などで活動。2019年3月より釧路市ビジネスサポートセンターk-BizでITアドバイザーに就任。SNS発信、動画編集、WEBページやチラシの作り方など、情報発信を中心とした伴走サポートを行っている。



テクニカルアドバイザー
佐藤 佳祐

1987年釧路市生まれ。2006年北海道釧路湖陵高校卒業、2010年北見工業大学工学部電気電子工学科卒業。2011年株式会社クロコスで共同創業、翌年にヤフー株式会社へ売却。株式会社オトバンク取締役最高技術責任者（CTO）、READYFOR株式会社エンジニアリングマネージャーを経て、現在はスターフェスティバル株式会社プリンシパルエンジニア、オトバンク技術顧問。2017年に釧路へUターン。2023年釧路市が出資する日本初の本官民連携IT開発会社である株式会社k-HackにCTOとして参画。



チーフディレクター
クオンジョンイン

1995年生まれ。韓国蔚山（ウルサン）広域市出身。2018年釜山大学日語日文学科卒業。日本のポップカルチャーをきっかけに日本に興味を持ち、高校時代に広島県あきおた町の交換留学プログラムに参加し地域活性化に強い関心を持ち、大学では地域活性化を研究。卒業後は日本留学を希望する学生の日本語指導、日本の大学事務局との留学手続き業務に従事。自身も日本への就職を検討していたところ、k-Bizの求人をつきかきにビズモデルの中小企業支援に感銘を受け日本への移住を決意。2023年8月に着任。

❖ k-Biz 開設 5 周年によせて



釧路市長
蝦名 大也

釧路市では、地域経済のプラス成長と雇用の創出を図るため、企業の「稼ぐ力」の強化の一環として、2018年度に経済団体・金融機関とともに北海道・東北地方ではビズモデルで初となる釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizを開設し、2023年8月21日に5周年を迎えました。

k-Bizでは、中小企業支援家の小出宗昭氏が創設し、全国で展開されているビズモデル型支援にならない、地域の可能性を信じ、知恵と徹底した伴走支援により、地域の「今」をつくる人や事業者それぞれがもつ強みを最大限に引き出すことを実現しています。

地域経済にとって中小企業、小規模事業者の支援は必要不可欠であるという考えの下、多くの皆様の御理解と御支援を賜りながら、ビジネスの第一線で活躍してきた澄川センター長、田辺副センター長におかれましては、開設以来1,000を越える事業者から寄せられた9,000件以上の相談に対応し、売上アップや雇用増につながる様々な挑戦を支援していただきました。

引き続きk-Bizを中心に、関係機関と連携し、地域の事業者一人一人と信頼関係を築きながら、皆様のチャレンジをサポートしてまいります。



釧路商工会議所
会頭 栗林 定正

釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz5周年、誠におめでとうございます。経済界を代表して、k-Bizの5年間の地域経済への貢献に感謝申し上げます。

k-Bizは釧路市と経済団体、金融機関が地域経済の現状に対して危機感を共有する中で動き出したプロジェクトであり、地方創生の実現に向けた挑戦でもありました。

以来、澄川センター長、田辺副センター長を中心に、専門家の力添えも得て、地域の企業が潜在的に持つセールスポイントや経営者の想いを引き出し、新たな価値の創造をサポートすることで多くの成果を生み出しています。

地域の企業はコロナ禍による市場環境の変化、国際情勢の影響を始めた複合的要因による逆風に見舞われており、直面する経営課題の解決や新たな市場の開拓、DX推進による生産性向上など長期的な視点に立った経営支援に期待する声も多くございます。

これからも、k-Bizならびに関係機関が一致協力し、釧路地域の経済・産業の成長を担う地元中小・小規模事業者が活力ある事業経営を継続していくための大きな支えとなっていただくよう期待しております。

❖ ご挨拶



センター長
澄川 誠治

k-Bizは地域の多くの方のご尽力で設立され、設立後も地域の関係機関の方々からの多大なサポートに支えられ、2023年8月に5周年を迎えることができました。我々相談員は施設の運営者ではなく、「事業の相談相手」というサービスを提供する担当者です。我々は1年契約で、相談相手としての結果が出せなければ、相談員は入れ替えになります。結果を出す以前に、相談に来て頂けなければ、その機会もありません。そういった意味で、私が5年、田辺が4年、継続できていることは、地域の事業者さんが北大通に相談に来て頂き、我々に事業の状況を話して頂き、提案をするチャンスを頂けたことが全てです。この5年間、我々に期待をし、チャンスを頂けた事業者の皆さま、本当にありがとうございました。更なる期待を頂けるよう、我々は自身を磨いていきたいと思っております。

この5年間を支えてくれました、相談員、歴代の市役所職員、ディレクター、そして妻・美那子にこの場を借りて感謝したいと思います。ありがとうございます！

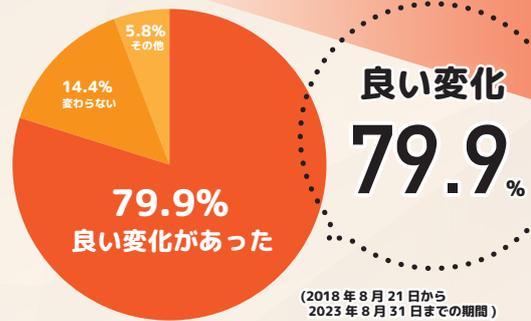
5年間の実績

相談件数は9141件、事業者数は1041件

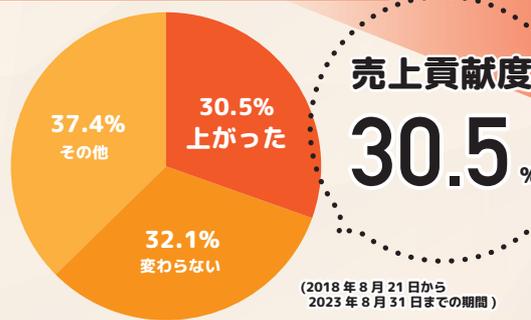
ご利用者の約80%が「良い変化があった」と回答



k-Bizへ相談いただいたことにより、ご自身や会社に良い変化はありましたか？

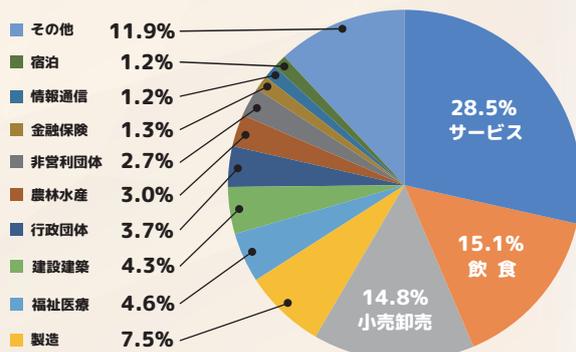


k-Bizへ相談いただいたことにより、売上は上がりましたか？

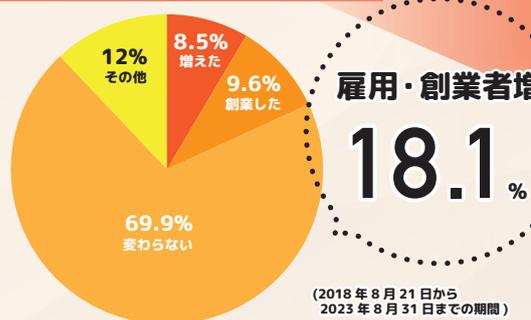


業種別円グラフ

(2018年7月2日から2023年8月31日までの期間)



k-Bizへ相談いただいたことにより、新たに雇用は増えましたか？



メディア掲載実績



売上アップに特化した中小企業支援「Bizモデル」を 実践する施設として 2018年8月にオープン

2008年	Bizモデル創始者である小出宗昭氏が、富士市が新規創設した中小企業経営支援のための相談施設「富士市産業支援センター f-Biz」の運営を受託。センター長に就任。	
2009年	(一社)北海道中小企業家同友会釧路支部(現くしろ支部)が小出宗昭氏を招き、講演会を開催。翌年から「k-Biz くしろ起業サポート相談会」を2年間実施。	
2018年	<p>常設の中小企業相談所「k-Biz」の設立が決定。センター長公募。110名の応募者の中から、澄川誠治氏をセンター長として採用決定。</p> <p>08.20 開所に先立って実施されたオープニングイベントには、総勢300名が集まった。</p> <p>08.21 「釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz」開所。</p>	
2019年	<p>02.19 「トップアスリートに学ぶ!ビジネスを切り開くチャレンジスピリットセミナー」を開催。</p> <p>02.26 「人材採用・定着に活かす!「健康経営」セミナー」を開催。</p> <p>03.06 ITアドバイザーに佐々木圭一氏が就任。</p> <p>06.06 「今時の若者と本気で向き合う!まごころマネジメントセミナー」を開催。</p> <p>06.20 「「終わる活動」は「今をよりよく生きる活動」今日から始める就活セミナー」を開催。</p> <p>08.22 日本総合研究所調査部主席研究員 藻谷浩介氏を招き、開設1周年記念シンポジウムを開催。</p> <p>10.01 ブランディングマネージャーに田辺貴久氏が就任(現副センター長)</p> <p>12.05 「ペライチが変えるWebマーケティングペライチ創業者が語るペライチ創業ストーリーセミナー」を開催。</p>	
2020年	<p>02.21 「災害多発の“今こそ”求められる事業所の備えを知るセミナー」を開催。</p> <p>03.19 「残業のない飲食店「佰食屋」に学ぶ みんなが幸せになる佰食屋の働き方改革セミナー」をオンライン開催。</p> <p>05.25 「オンライン面接導入&成功セミナー」をオンライン開催。</p> <p>06.06 「オンライン面接合格対策セミナー」をオンライン開催。</p> <p>10.10 釧路市男女平等参画センターふらっととの共催セミナー「カミングアウトして生きるということ」を開催。</p>	
2021年	07.16 累計相談件数5,000件を突破し、記念セレモニーを開催。	
2022年	<p>02.25 「副業人材・移住人材活用事例&セミナー」をオンライン開催。</p> <p>10.29 「不屈の精神を学ぶ!チャレンジスピリッツ 自らも前科者の経営者が語る出所者の雇用」セミナーを開催。</p> <p>11.05 「不屈の精神を学ぶ!チャレンジスピリッツ トップアスリートから学ぶ起業家精神」セミナーを開催。</p>	
2023年	<p>08.09 累計相談事業者数1,000件を突破し、記念セレモニーを開催。</p> <p>08.21 k-Biz開設から5周年を迎える。</p> <p>12.15 「2022年日経MJヒット商品番付から読む 消費のトレンド・未来」セミナーを開催。</p> <p>12.22 k-Biz開設5周年シンポジウム「CHALLENGE TOGETHER」を開催し、ゲストに中小企業庁長官 須藤治氏を招き、基調講演を頂き、総勢230名が集まった。</p>	

❖ k-Bizの支援実績の一例

01

ターゲットと利用シーンを想定したデザインの
缶容器とセットで販売。売上が60倍に。

株式会社シンタック

相談内容

精米の工程で発生する米ぬかを自社で高温乾燥し
粉末化した商品を製造しており、販路を広げて売
上を伸ばしたい。

サポート内容

- 缶容器のデザインコンセプト検討
ターゲットと利用シーンを設定し、缶容器とのセット販売提案およびデザインコンセプトの考案をサポート。
- Amazon 出店サポート
掲載情報の整理や商品写真の撮影・選定、管理栄養士とのマッチングにより専門家による口コミを掲載等、ターゲットに効果的に訴求する商品ページ作りをサポート。



代表取締役 貝森 勝広

自分の商品には自信を持っていましたが、売上をあげるためには販路を作らなければと思い、k-Bizに相談しました。先を見据えながらもできることからご提案いただいたことで、着実に実績を作ることができました。



02

補助金の活用と地域連携の構築により、
持ち出しゼロで農作物の六次化を実現。

音別ふき落団

相談内容

障がい者支援施設や生活保護受給者の雇用創出を
目的に、音別町の特産品のふきを生産している。
生産したふきの売上を伸ばしたい。

サポート内容

- 地域連携の構築
フキのピクルス商品化を検討。地元のフレンチシェフによるレシピ監修や商業高校にて同商品を取り扱うキャリア教育授業の実施、地元物産店への販路確保など、地域との多角的連携の構築をサポート。
- 情報発信サポート
販売開始にあわせたプレスリリースや商品ページの開設などをサポート。



代表理事 伊藤 まり

新商品の開発を検討していましたが、何から始めたらよいのかわからずk-Bizへ相談しました。釧路の他の事業者と何か連携できたらと考えていたので、地域に密着しているk-Bizに相談することで色々な展開が生まれ、軌道に乗せることができました。



03

ハウスクリーニングという新分野での起業を、
「掃除の外注」という価値観を言語化し成功。

ラックリン

相談内容

多忙で家事に手が回らない方のために、清掃業と
訪問介護業での経験を活かしてハウスクリーニング
事業で創業したい。

サポート内容

- 事業ビジョン作成のサポート
家庭向けのハウスクリーニングは市場が小さいため「掃除の外注」という価値観に共感を得ることを検討。創業の想いを丁寧にヒアリングし会社のビジョンとして言語化。
- 創業準備全般をサポート
サービス名・料金設定の検討、ロゴデザイン発注、ユニフォーム・名刺製作、HP開設、プレスリリース作成など、お金をかけずに徹底サポート。



代表 中島 紳護

私の想いをビジョンとして言葉にいただいたことで、これからの指針をもつことができました。創業後も継続して情報発信等をサポートしていただき感謝しています。今後も地域に「掃除を外注するカルチャー」を広げていけるように頑張ります。



04

テナントの支援のため自社アプリを企画。
高難度なシステム発注を伴走し開発実現。

相談内容

飲食テナントの集客サポートと賃料以外の収益源を実現するため、店舗紹介と利用ごとに現金が還元されるアプリを開発したいがノウハウがない。

サポート内容

- 実現したい機能のモデル化
ユーザーへのサービス、テナントへのキャッシュバックなど求める機能の実現に向け、データの流れや必要な機能など、ビジネスモデル化を支援。開発会社への依頼内容を明確化。
- 実現のための環境づくりサポート
地元金融機関と協働し事業再構築補助金の採択に向けたサポート。また開発会社の選定に向けて提案内容や見積り内容の確認と助言を実施。開発に向けた会議出席など徹底伴走し短期間かつ予算内でアプリ開発を実現。

東洋ビル開発株式会社



代表取締役社長 瀧波 大亮

事業の構想は以前からありましたが、アプリ開発の経験や知識に乏しく、相談できる相手もいませんでした。k-Bizに相談したところ、開発会社の選定からアプリの要件定義、定期的な打ち合わせまでサポートしていただき 100%思い通りのアプリをリリースすることが出来ました。



05

釧路近海の真鱈を使ったタラフライを
高級路線の商品にブランディング。

相談内容

釧路近海の真鱈を使ったこだわりのタラフライを
新商品として売り出したい。

サポート内容

- ネーミング、ロゴの制作サポート
「作り手とこだわりがわかる」「高級スーパーに並べられる」ことを念頭に商品名・ロゴの制作をサポート。
- 直売会の企画サポート
作れる量に限りがあり、価格も下げられないため、直売会を企画。広報、商品ページの開設など、全面的にサポート。

マルヒ菅野



代表 菅野 暁子

釧路の魚を使ってみんなが喜んでもらえるものを作りたいという想いから商品を試作していたところ、釧路信用金庫さんの紹介でk-Bizに伺いました。いつも熱心に、本当に様々なことをサポートしていただき、おかげでたくさんの方に愛される商品になりました。



06

創業に向け、事業計画策定や
サービスコアの設定、情報発信を徹底伴走。

相談内容

アイスホッケーチーム・日本製紙クレインズの元選手。日本製紙釧路工場の閉鎖を機に退職し、釧路に残って開業を決意。大型犬を飼育しており、ドッグパークの開設を検討している。

サポート内容

- 創業準備を伴走支援
事業計画策定、資金調達等の創業準備全般を支援。
- 有料施設としての差別化
「管理人常駐でトラブルが少ない」と「犬のためのドッグパーク」を差別化のためのサービスコアとして設定し、地形を活かした犬優先のランドプラン設計をサポート。
- 情報発信
開業に向けたプレスリリースや、SNS 発信をサポート。

Stubble Village



代表 大嶋 良介

頭の中のやりたい事を言語化するところから、開業のために何がいつまでに必要かをアドバイスしていただきました。気持ちしが持っていかなかった状態から開業までの全般をサポートしていただきとても感謝しています。



k-Bizが売上アップを サポートします



k-Bizのご予約方法

WEB/メール/お電話からお気軽にご連絡下さい。



WEB お申し込みフォーム

<https://www.kushiro-biz.net/form>



info@k-biz.kushiro.jp

・お名前（会社名）
・お電話番号
をご記入いただくとスムーズです。



0154-68-5624

☎ ご対応時間
火曜日～土曜日 9:00～17:00

ご対応時間内に事務局より予約日時の調整のご連絡をさせていただきます。
3営業日を過ぎても連絡がない場合、お手数ですがあらためて別の方法でご連絡ください。

釧路市ビジネスサポートセンター

k-Biz

〒085-0015

釧路市北大通 4-1-1 北大通4丁目ビル 2階

電話 0154-68-5624

メール info@k-biz.kushiro.jp

WEB <https://kushiro-biz.net>

